

AI for Inclusion and Diversity TransCommunicator のご紹介

VIDEO TRANSCRIPT

人と人とのコミュニケーション上で
バリアになっているものをできるだけなくしていく

私たち聴覚障がい者は、耳が聞こえないことで
耳から入る情報がなく、目で見える情報がほとんどです
特にミーティングや大きなイベントでは
それが本当に不便です

初めて会う人とのコミュニケーションが
困ることが多いです
例えば、マスクをしていると、口がわからなくて
何を話しているかわからなくて困ってしまいます

一対一の場合はまだ大丈夫ですが二、三人
グループなどたくさんの方がいる中で
たくさんの方が話されるとその中で
全て把握することはとても難しく
私にとって不便なことだと感じています

みなさんの会話についていく
置いてけぼりになってしまうということが
一番よくみられる、辛い部分なので
そこをどう克服するか
そのためにどういったサポートが得られるかと
いうのが大事だと思うので
もっともっとサポートの選択肢が増えれば
ありがたいなと思います

このような悩みにこたえるべく
われわれアクセントチュアは
AIを活用したコミュニケーションツール
「TransCommunicator」を開発しました

TransCommunicator は、日本語音声の
高い書き起こし精度を保証する『AmiVoice』を採用
業界ならではの用語を学習させてあり
一般的な言葉だけでなく専門用語も認識できます

発話内容はリアルタイムで字幕として表示され
画面の邪魔をすることなく会話をサポートします

他にも単語辞書を追加して
認識精度を高められる機能や
会話内容をテキストとして
保存できる機能も備えています
また、『発話ボタン』も用意し、障がいのある方も
気軽に会議で発言できるようバックアップします

コミュニケーションをより活性化して
お互いをより理解しあって
お互いを活かしあえる
そういった土壌を作るのを
AIで支援したい

TransCommunicator を使うことによって

情報がリアルタイムですべて出てきますので
仕事の理解度が深まりました

ちょっと疑問があれば、そこに自分の
意見を挟んだり
そういう主体性が出てくると感じています

AI は、人間の能力を拡張してくれるものと
いう風に考えています
AI の技術の進歩は非常に早いんですけども
AI Hub プラットフォームを使うと、機能ごとに最適なエ
ンジン
組み合わせたりとか、あるいは組み替えたりと
いったことが可能になります

来日している外国籍の方と日本人のメンバーの間の
コミュニケーションを活性化していくためにも
多言語対応というのと、あと翻訳の機能を
付与していきたいなと

社内ですぐは広まって
使い勝手の良さとか
クオリティの高さがアピールできる状況に
なってもらいたいなと思います

これからも更に進化して社内の PwD だけでなく
皆さんも普通に議事録として
使えるようになることを期待しています！

全ての社員が多様なその力を十分に発揮できるよう
AI を活用した支援を引き続き行ってまいります

Copyright © 2019 Accenture
All rights reserved.

Accenture and its logo are
trademarks of Accenture.